

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	こども教育宝仙大学
設置者名	学校法人宝仙学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
こども教育学部	幼児教育学科		0	0	27	27	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表、およびシラバス検索画面は以下に記載。 http://hosen.ac.jp/about/information

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名 なし
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	こども教育宝仙大学
設置者名	学校法人宝仙学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://ho.hosen.ac.jp/organize.php 学園機関誌「宝仙ガイドブック」
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社ナカノフドー 建設取締役名誉会長 現職	2021.4.1～ 2023.3.31	組織運営体制等の チェック機能
非常勤	有限会社ケイアンドワイ 代表取締役 前職	2021.4.1～ 2023.3.31	組織運営体制等の チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	こども教育宝仙大学
設置者名	学校法人宝仙学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>こども教育宝仙大学教務委員会において、以下の平成20年12月24日に中央教育審議会にて示された「学士課程教育の構築に向けて(答申)」を基にシラバス作成要領の作成及び添削を行っている。</p> <p>『学士課程の構築に向けて(答申)』平成20年12月24日(中央教育審議会)より</p> <p>シラバスに関しては、国際的に通用するものとなるよう、以下の点に留意する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各科目の到達目標や学生の学修内容を明確にすること ・準備学習の内容を具体的に指示すること ・成績評価の方法・基準を明示すること ・シラバスの実態が、授業内容の概要を総覧する資料(コース・カタログ)と同等のものにとどまらないようにすること <p>授業計画(シラバス)作成過程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業担当者へ授業計画(シラバス)作成依頼 ・教務委員会及び授業担当者にて内容確認・添削 ・授業計画(シラバス)完成→ホームページ及びポータルサイト上にて全シラバスを公開 <p>授業計画(シラバス)作成時期：1月初旬～2月 授業計画(シラバス)公表時期：3月～</p>	
授業計画書の公表方法	http://hosen.ac.jp/about/information
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

各授業においては、授業担当者がシラバス内にて明記した方法で成績評価をする。万が一不正行為が発覚した場合は、当該授業の単位が認められない他、学則第 72 条に基づいて厳しい処分を受けることとなる。レポートや課題についても、他人の文章を安易に引用したり、コピー・アンド・ペースト（文章やデータなどを複写・複製し、それを別の場所へ転写・貼付する行為）したりすることは、不正行為とみなされる場合がある。

授業科目を履修登録し、授業への出席・参加、課題、レポート提出、試験等を総合的に判断して合格となった場合は、修得単位として認定される。

ただし、授業の 3 分の 1 を超えて欠席した場合は、評価判定の対象外となり、単位の修得ができない。また、認定にあたっては、当該学期の学納金が完納されていないと認められない。

授業科目の成績評価は、各授業担当教員が行い、下記のとおり「評価標記」で示される。

評価標記	評 価	合 否	Grade Point
S	100点～90点	合 格	4
A	89点～80点	合 格	3
B	79点～70点	合 格	2
C	69点～60点	合 格	1
F	59点以下、または、 単位認定を受ける資格なし	不 合格	0

単位認定を受ける資格を得るためには、学則に規定する授業回数の 3 分の 2 以上の授業への出席が必要である。したがって、各科目とも、規定の全授業回数の 3 分の 1 を超えて欠席した場合は、単位認定を受ける資格が無くなり、当該学期に該当科目の単位は修得できない。

3. 成績評価において、G P A 等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

本学での成績評価について、GPA (Grade Point Average) 制度を設けている。GPA は、成績を 5 段階の Grade Point で評価し、獲得ポイントの合計を履修登録した総単位数で割った、1 単位あたりの成績の平均値である。

GPAの算出式

$$\text{GPA 値} = \frac{4 \times \text{Sの修得単位数} + 3 \times \text{Aの修得単位数} + 2 \times \text{Bの修得単位数} + 1 \times \text{Cの修得単位数}}{\text{総履修登録単位数 (F (不合格)の単位数を含む)}}$$

客観的な指標の 算出方法の公表方法	http://hosen.ac.jp/about/information
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 本学のディプロマ・ポリシー（学位授与方針）は以下の通りである。</p> <p>こども教育宝仙大学は、建学の精神に基づき、仏教精神を基調とした人間教育の伝統を基にした「人を造る」の実践を通して、慈悲・敬虔・感謝・奉仕の心に満ちた豊かな人材とともに、専門的知識・技術を習得し、高次の倫理観と教養を備え、広い視野に立った判断力をもって社会に貢献できる人材の育成を目指した教育課程を編成しています。</p> <p>卒業までに次の能力を身につけ、所定の単位を修めた学生に対して卒業を認定し、「学位規則」により学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人間性豊かで社会性に富み、他者との円滑なコミュニケーションができる 2. 溢れる情報と多様化した社会の中で、変化に即した判断ができる 3. 専門知識や技法を適切に駆使でき、絶えずそれを向上させようと努力することができる <p>上記ディプロマ・ポリシーにのっとり、本学に4年以上在学し、卒業に必要な単位（2018年度以前入学生126単位以上、2019年度以降入学生124単位以上）を修得し、累積GPA1.5以上を修得すると、学士の学位が授与される。</p>	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	http://hosen.ac.jp/about/information

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	こども教育宝仙大学
設置者名	学校法人宝仙学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://ho.hosen.ac.jp/financial.php
収支計算書又は損益計算書	https://ho.hosen.ac.jp/financial.php
財産目録	https://ho.hosen.ac.jp/financial.php
事業報告書	https://ho.hosen.ac.jp/financial.php
監事による監査報告(書)	https://ho.hosen.ac.jp/financial.php

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: http://hosen.ac.jp/about/information

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 こども教育学部
教育研究上の目的 (公表方法： http://hosen.ac.jp/about/information) (概要) ■本学の目的 本学は、教育基本法及び学校教育法の定めるところに従い、仏教精神に基づく人格の陶冶及び専門の学術を教授研究することにより、社会の発展に貢献し得る教養ある職業人を育成することを目的とする。
卒業の認定に関する方針 (公表方法： http://hosen.ac.jp/about/information) (概要) 本学のディプロマ・ポリシー (学位授与方針) は以下の通りである。 こども教育宝仙大学は、建学の精神に基づき、仏教精神を基調とした人間教育の伝統を基にした「人を造る」の実践を通して、慈悲・敬虔・感謝・奉仕の心に満ちた豊かな人材とともに、専門的知識・技術を習得し、高次な倫理観と教養を備え、広い視野に立った判断力をもって社会に貢献できる人材の育成を目指した教育課程を編成しています。 卒業までに次の能力を身につけ、所定の単位を修めた学生に対して卒業を認定し、「学位規則」により学位を授与します。 1. 人間性豊かで社会性に富み、他者との円滑なコミュニケーションができる 2. 溢れる情報と多様化した社会の中で、変化に即した判断ができる 3. 専門知識や技法を適切に駆使でき、絶えずそれを向上させようと努力することができる
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： http://hosen.ac.jp/about/information) (概要) カリキュラム・ポリシー (教育課程編成方針) こども教育宝仙大学のカリキュラムは、建学の精神や教育理念をふまえ、質の高い幼児教育・保育・児童福祉に携わる専門職の養成を大きな柱とともに、高次な倫理観と豊かな教養、幅広い専門知識をもった人間性の涵養および社会や時代の変化の中で生きるための総合的な判断力を培うために、ディプロマ・ポリシーに明記した人材養成を目的に編成しています。 こども教育学部幼児教育学科のカリキュラムは、教育上の目的を達成するために必要な「総合基礎領域」および「総合専門領域」から体系的に編成しています。 1. 「総合基礎領域」は、建学の精神を理解し、大学生として必要とされる基礎的な技法、情報化社会に対応できる能力、様々な問題を考えるための教養、体験や経験に基づく知恵などを身につけるための科目のまとまりです。 2. 「総合専門領域」は、質の高い保育者として必要な知識・技法を幅広く身につけるために設定した幼児教育基礎科目群、幼児教育応用科目群、幼児教育関連科目群、および幼児教育発展科目群から構成された科目のまとまりです。 3. 幼児教育基礎科目群は、人としてこどもの教育・保育に関わるすべての大人が備えるべき素養を身につける科目のまとまりです。 4. 幼児教育応用科目群は、幼稚園教諭という専門職養成に必要な知識と技法の修得に主眼をおいた科目のまとまりです。

5. 幼児教育発展科目群は、幼児教育基礎科目群、幼児教育応用科目群および幼児教育関連科目群における学習内容を体験的に検証し、実践的能力を身につけるための科目のまとめです。
6. 幼児教育関連科目群は、保育士という専門職養成に必要な知識と技法の修得に主眼をおいた科目のまとめです。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：<http://hosen.ac.jp/about/information>）

（概要）

アドミッション・ポリシー

こども教育宝仙大学は、建学の精神と基本理念を理解し、幼児教育や保育を学ぶ強い意欲があり、本学の教育課程で身につけた能力を社会で活かそうという人を求めます。

- ① 広く豊かな教養を身につけられるよう、高等学校などにおいて、各教科への関心を保持していることが望まれます。
- ② 表現系の教科（音楽・美術・体育等）についての基礎的な素養とそのいずれかについての積極的な関心が求められます。
- ③ 日本語の文章力およびコミュニケーション力が求められます。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<http://hosen.ac.jp/about/information>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
こども教育学部	—	9人	4人	4人	0人	0人	17人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
0人			18人				18人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）			公表方法： http://hosenn.ac.jp/about/information/				
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
こども教育学部	100人	86人	86%	400人	400人	100%	若干名	1人
合計	100人	116人	116%	400人	396人	99%	若干名	1人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
こども教育学部	75人 (100%)	1人 (1.3%)	74人 (98.7%)	0人 (0%)
合計	80人 (100%)	1人 (1.3%)	69人 (86.3%)	10人 (12.5%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>こども教育宝仙大学教務委員会において、以下の平成 20 年 12 月 24 日に中央教育審議会にて示された「学士課程教育の構築に向けて(答申)」を基にシラバス作成要領の作成及び添削を行っている。</p> <p>『学士課程の構築に向けて(答申)』平成 20 年 12 月 24 日(中央教育審議会)より</p> <p>シラバスに関しては、国際的に通用するものとなるよう、以下の点に留意する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各科目の到達目標や学生の学修内容を明確にすること ・準備学習の内容を具体的に指示すること ・成績評価の方法・基準を明示すること ・シラバスの実態が、授業内容の概要を総覧する資料(コース・カタログ)と同等のものにとどまらないようにすること <p>授業計画(シラバス)作成過程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業担当者へ授業計画(シラバス)作成依頼 ・教務委員会及び授業担当者にて内容確認・添削 ・授業計画(シラバス)完成→ホームページ及びポータルサイト上にて全シラバスを公開 <p>授業計画(シラバス)作成時期：1 月初旬～2 月</p> <p>授業計画(シラバス)公表時期：3 月～</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>■学修の成果に係る評価について</p> <p>各授業においては、授業担当者がシラバス内にて明記した方法で成績評価をする。万が一不正行為が発覚した場合は、当該授業の単位が認められない他、学則第 72 条に基づいて厳しい処分を受けることとなる。レポートや課題についても、他人の文章を安易に引用したり、コピー・アンド・ペースト(文章やデータなどを複写・複製し、それを別の場所へ転写・貼付する行為)したりすることは、不正行為とみなされる場合がある。授業科目を履修登録し、授業への出席・参加、課題、レポート提出、試験等を総合的に判断して合格となった場合は、修得単位として認定される。</p> <p>ただし、授業の 3 分の 1 を超えて欠席した場合は、評価判定の対象外となり、単位の修得</p>

ができない。また、認定にあたっては、当該学期の学納金が完納されていなければならない。

授業科目の成績評価は、各授業担当教員が行い、下記のとおり「評価標記」で示される。

評価標記	評 価	合 否	Grade Point
S	100点～90点	合 格	4
A	89点～80点	合 格	3
B	79点～70点	合 格	2
C	69点～60点	合 格	1
F	59点以下、または、 単位認定を受ける資格なし	不 合 格	0

単位認定を受ける資格を得るためには、学則に規定する授業回数の3分の2以上の授業への出席が必要である。したがって、各科目とも、規定の全授業回数の3分の1を超えて欠席した場合は、単位認定を受ける資格が無くなり、当該学期に該当科目の単位は修得できない。

■卒業の認定に当たっての基準について

本学のディプロマ・ポリシー（学位授与方針）は以下の通りである。

こども教育宝仙大学は、建学の精神に基づき、仏教精神を基調とした人間教育の伝統を基にした「人を造る」の実践を通して、慈悲・敬虔・感謝・奉仕の心に満ちた豊かな人材とともに、専門的知識・技術を習得し、高次の倫理観と教養を備え、広い視野に立った判断力をもって社会に貢献できる人材の育成を目指した教育課程を編成しています。

卒業までに次の能力を身につけ、所定の単位を修めた学生に対して卒業を認定し、「学位規則」により学位を授与します。

1. 人間性豊かで社会性に富み、他者との円滑なコミュニケーションができる
2. 溢れる情報と多様化した社会の中で、変化に即した判断ができる
3. 専門知識や技法を適切に駆使でき、絶えずそれを向上させようと努力することができる

上記ディプロマ・ポリシーにのっとり、本学に4年以上在学し、卒業に必要な単位（2018年度以前入学生 126 単位以上、2019 年度以降入学生 124 単位以上）を修得し、累積 GPA1.5 以上を修得すると、学士の学位が授与される。

学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
こども教育学部	幼児教育学科	2018 年度以前入学生 126 単位 2019 年度以降入学生 124 単位	有	GPA 値 2.0 未満…18 単位 GPA 値 2.0 以上 3.0 未満…20 単位 GPA 値 3.0 以上 3.5 未満…22 単位 GPA 値 3.5 以上…24 単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		

学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)	公表方法：
----------------------------	-------

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<http://hosen.ac.jp/about/information>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
こども教育学部	幼児教育学科 1年	800,000円	300,000円	370,000円	施設設備整備費、 教育充実費
	幼児教育学科 2年	800,000円	-	370,000円	施設設備整備費、 教育充実費
	幼児教育学科 3年	800,000円	-	430,000円	施設設備整備費、 教育充実費、実習費
	幼児教育学科 4年	800,000円	-	410,000円	施設設備整備費、 教育充実費、実習費

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

<p>a. 学生の修学に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>本学では、学生が有意義で充実した大学生活を送れるよう、アドバイザー制度を設けている。学生は1年次から4年次まで、必ずいずれかのゼミに所属し、所属するゼミの授業担当教員がアドバイザーとなる。アドバイザーは、履修相談の他、学修上の問題や友人関係など、学生生活全般にわたり指導・助言を行う。</p> <p>また、学生が学修上の質問や相談、指導を受けるための時間をオフィスアワーという。本学では、全ての専任教員が週2コマ(180分)のオフィスアワーを設け、学生の相談を受けるために研究室に在室する。年度初めに、教員のオフィスアワーの時間帯等を周知する。質問や相談等がある学生は、メールなどで予約をとり、相談をする。</p> <p>本学では、ひとつの学期におけるGPA値が2.0未満である場合は、当該学生に対してアドバイザーが指導を行う。また、2.0未満の学期が2回連続した場合または通算3回となった場合は、学生および保証人に対してアドバイザーが指導を行う。さらに2.0未満の学期が3回連続した場合または通算4回となった場合は、教授会の議を経て、本人および保証人に対し、学部長が在学について意思確認ならびに厳重注意を行う。</p>
<p>b. 進路選択に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>本学の実習・キャリアサポートセンターの概要は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場 所：1号館2階 ・開室日時：9：00～17：00 ・支援内容：求人票、案内パンフレットなどの情報提供、学内ガイダンスの案内、就職試験受験記録の閲覧、講座・検定の情報提供、公務員試験対策講座の開催、個別相談 ・就職サポートシステム「宝仙キャリアメイト」： スマートフォンやパソコンから最新の求人情報を閲覧できるシステムで、希望職種や地域の求人情報を知らせる機能もある。就職活動の開始から内定までの一連の進捗管理もこのシステム内で行っている。 ・マイ・キャリアファイルについて： 「マイ・キャリアファイル」はキャリア構築のための「手引き」であり、Google Classroomを通してオンラインで配布している。特に4年生には冊子をファイルに綴じて配布し、就職活動の進め方の説明、必要書類、電話の掛け方、添え状の作り方など就職活動に必要な具体

的方法やサンプルが入っている。その他、キャリアガイダンスの情報や当センターへの諸届についての説明もある。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

保健室では定期健康診断や健康相談、応急処置、測定・検査などを行う。

学生相談室では、困ったことや悩んでいることなど、いろいろな相談に応じている。開室日は週2回で、カウンセラー(公認心理師・臨床心理士)が学生の話じっくりと聞きながらいっしょに考えていく。相談内容によってはより適切な相談機関等を紹介する。相談内容については秘密厳守である。また、成績や就職などに影響することも全くない。相談は基本的に予約制だが、予約が無くても、来室者がいないときや緊急の場合は、相談を受けることができる。予約の際は、メール・電話・教員を通してのいずれかの方法で予約可能である。

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	こども教育宝仙大学
設置者名	学校法人宝仙学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		46人	48人	49人
内 訳	第Ⅰ区分	27人	29人	
	第Ⅱ区分	-人	-人	
	第Ⅲ区分	-人	-人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				49人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	人	人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間が標準時間数の5割以下)	0人	人	人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当	-人	人	人
計	-人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あっては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	-人	人	人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	-人	人	人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。